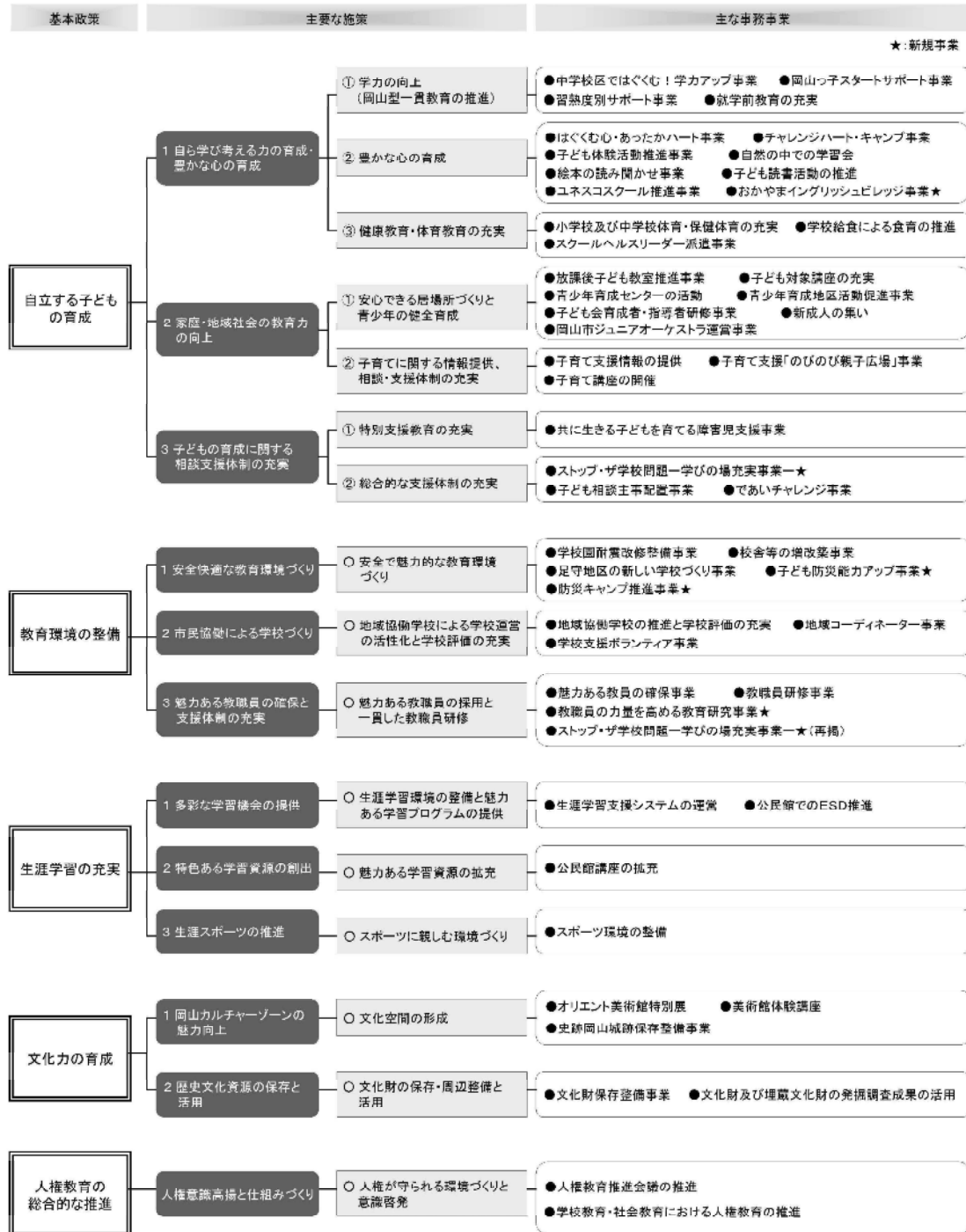


### Ⅲ 平成24年度岡山市教育委員会の主要な事業

岡山市教育委員会の主要な事業は、岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（愛称：岡山っ子育成条例）を基盤に岡山市都市ビジョン（新・岡山市総合計画）を踏まえ、教育行政のより一層の充実を図るために、単年度ごとに見直し、策定しています。基本政策を実現するため、重点的に進める施策と事務事業を設定し、体系的にまとめています。なお、基本政策は、①自立する子どもの育成、②教育環境の整備、③生涯学習の充実、④文化力の育成、⑤人権教育の総合的な推進の5点です。

岡山市教育行政における政策、主要な施策及び主な事務事業の体系



## 1 自立する子どもの育成

### (1) 自ら学び考える力の育成・豊かな心の育成

#### ① 学力の向上（岡山型一貫教育の推進）

##### 【中学校区ではぐくむ！学力アップ事業】

教育委員会と大学とが連携し、「読解力」「表現力」「学ぶ意欲」などの課題解決に向けて幼児教育から中等教育までの学びを連続させる一貫教育の推進体制を中学校区単位で強化する。

- ・大学教授等が参加する幼小合同、小中合同教科等別研究会の実施
- ・大学教授等との連携による中学校区ごとの状況分析と取組の評価
- ・保幼小中の接続を強化する指導資料等の作成と配付
- ・いきいき学校園づくりハンドブックの更新
- ・指導内容の研究用として中学校教科書を小学校へ配付
- ・岡山型一貫教育に関する保護者向けパンフレットの作成

##### 【岡山っ子スタートサポート事業】

小学校1年生のスムーズなスタートのために生活指導や学習指導の支援を行うサポーターを配置し、つまづきを早期に発見し対応することで、学校生活への適応力を高め学力向上の基盤づくりを支える。

- ・1クラス30人以上の学級に配置
- ・県事業（小1グッドスタート事業）の20週に追加して6週間分配置

##### 【習熟度別サポート事業】

小学校に習熟度別サポーターを配置し、原則として3～6年生の習熟度別の授業（算数・国語）を行う中で、さらに10人未満の小さな集団によるきめ細かい指導を実施し、基礎・基本の確実な習得を図り、児童一人一人の学力向上を目指す。

- ・1学級当たり平均児童数10人以下の学校を除く全小学校に1人ずつ配置し、さらに、25学級以上で教員一人当たりの児童数20人以上の小学校にも1人を追加配置

##### 【就学前教育の充実】

保育園児と幼稚園児が同じ就学前の子どもとして、小学校入学以後における生きる力の基礎を等しく身に付けられるようにする。また、岡山型一貫教育の視点から、保育園・幼稚園と小学校との円滑な接続が行えるよう指導の充実を図る。

- ・保幼小連携研修会等の実施（小学校につなぐ指導等について協議）
- ・保幼合同研修会の開催（指導方法や指導内容の研究協議）
- ・保幼連携推進園として3組を4年間指定
- ・岡山式カリキュラム（平成21年度版）の普及
- ・保育園と幼稚園教職員の相互体験研修の実施

#### ② 豊かな心の育成

##### 【はぐくむ心・あったかハート事業】

「心をはぐくむ豊富な教材や資料と出会う機会」「社会的な課題への対処や人間関係づくりについて考える機会」「様々な価値を実感を持って捉えるための体験的活動の機会」「たくましくしなやかな心を育成する体験的活動の機会」という4つの機会を充実させ、岡山っ子の正義感や公平さを重んじる心、命を大切にし人権を尊重する心などの基本的な倫理観をはぐくみ、豊かで強い心を育てる。

- ・資料集『あったかハート』の活用のための研修と活用事例集の充実
- ・「あったかハート推進講師」の派遣と岡山市版のプログラムづくり
- ・「あったかハート体験活動」の推進

##### 【チャレンジハート・キャンプ事業】

長期（6泊7日）の集団宿泊体験活動の中で子どもたちが普段できない様々な自然体験や冒険・挑戦体験などの機会を設け、たくましくしなやかな心を育てる。

- ・旭川での急流下りやカヌー体験、20km長距離ウォーク、山の中の岩山登りなど、様々な活動を実施
- ・チャレンジハート・キャンプの効果に関する調査を実施
- ・チャレンジハート・キャンプ報告展の開催

##### 【子ども体験活動推進事業】

豊かな体験活動の機会をつくり、子どもたちの自主性や自立性を育むとともに地域子ども会の活性化を図る。また、体験活動の重要性を地域に広げ、定着させるために青少年団体や子育て関係団体のネットワーク化を進める。

- ・わくわく犬島探険隊&報告展
- ・わくわく子どもまつり

### 【自然の中での学習会】

小学生を対象に、普段の学校とは違う環境の中で、ボランティア先生（小学校や大学の教師）と共に体験活動を行うことで、学校の枠を超えての交流や自然の素晴らしさを体感させる。

- ・内容Ⅰ…理科「昆虫・天体観察」、社会「空港・桃畑見学」、レクリエーション
- ・内容Ⅱ…理科「天体観察」、図工「森の顔をつくろう」等、レクリエーション、野外炊事

### 【絵本の読み聞かせ事業】

絵本の読み聞かせの楽しさと大切さを保護者に伝え、家庭で実践してもらうことにより、子どもが自然に本にふれ、読書に親しむことができるようにする。

- ・中央図書館、幸町図書館、灘崎図書館の3カ所で開催
- ・読み聞かせの実演と同時に、読み聞かせの方法や絵本の選び方などに関するアドバイス

### 【子ども読書活動の推進】

子ども読書活動推進計画に基づき図書館が中心となり、社会全体で子どもの読書活動を推進する環境をつくることで、子どもたちが、読書を通じて自ら学び、自ら考えることができる人間として成長できるようにする。

- ・「子どもが本と出会うまっぷ・岡山」の配付
- ・児童書の充実と団体貸出の支援
- ・子ども向け行事を増やす（紙芝居や絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング）
- ・学校司書と連携を図り、地域イベントへの本の提供
- ・子ども読書活動関連ボランティアに対する支援

### 【ユネスコスクール推進事業】

ESD（持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育）の推進拠点となるユネスコスクールへの各学校の加盟を支援し、加盟校の実践例を全校へ提供することで、各校のESDの取組の充実・発展を図り、環境教育や国際理解教育、人権教育などの面から中学校区で一貫した教育や地域との協働による実践の充実を図る。

- ・「岡山市ユネスコスクール推進校連絡会研修会」を開催（大学と連携して）
- ・各校のユネスコスクール加盟申請に関する指導・助言（大学と連携して）
- ・各校の活動の実践支援（大学と連携して）
- ・地域と連携して行う活動に対する財政支援（岡山ESD推進協議会と連携して）
- ・実践事例を紹介するリーフレットの作成・配付（大学と連携して）

### 【おかやまイングリッシュビレッジ事業】

犬島自然の家と旧福谷小学校をイングリッシュビレッジ（英語村）に見立てた留学体験活動を実施し、外国人講師と英語によるコミュニケーションを取りながら異文化体験や自然体験をさせることで、子どもたちの英語力の向上、自主性や協調性、国際感覚を育てる。

- ・1回目…犬島自然の家で7月か8月、1泊2日（30人程度）
- ・2回目…旧福谷小学校で11月頃、日帰り（50人程度）
- ・対象者…小学校5・6年生
- ・活動内容…異文化体験（外国料理作り、民族衣装の試着など）、自然体験（シーカヤック、キャンプファイヤーなど）

## ③ 健康教育・体育教育の充実

### 【小学校及び中学校体育・保健体育の充実】

小学校・中学校各1校を体育・保健体育の研究推進校に指定し、2年間にわたり教科研究を推進する。2年目には研究発表会を開催することで、その成果を全市へ広げていき、岡山市の体育・保健体育の充実・発展を図る。

<研究発表校>

小：岡山市立豊小学校 中：岡山市立中山中学校

### 【学校給食による食育の推進】

学校給食を通して、児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎を培い、食の自己管理ができ、健全な食生活を実践する力を身につけることができるようにする。そのため、各学校での食指導の目標を明確にした食に関する指導の全体計画を策定し、中学校区で小・中学校間の連携を図るよう取り組んでいく。

### 【スクールヘルスリーダー派遣事業】

経験の浅い養護教諭の一人配置校に、退職養護教諭を「スクールヘルスリーダー」として派遣し、メンタルヘルスなど多様化する現代的な健康課題への対応について指導助言するなどの支援を行い、学校保健の充実を図る。

- ・派遣対象校：4校（1日4時間 月2回程度）
- ・連絡協議会を開催し、スクールヘルスリーダーの研修等を実施（3回）

## (2) 家庭・地域社会の教育力の向上

### ① 安心できる居場所づくりと青少年の健全育成

#### 【放課後子ども教室推進事業】

児童・生徒を対象として、平日の放課後や学校休業日に、学校施設等を活用し、安全・安心な体験学習・交流活動・学習活動を主体とした「子どもの居場所」づくりを推進する。

- ・ P T A、連合町内会、地域住民、教職員等で実行委員会を構成
- ・ 活動の実施に当たっては、実行委員会で企画を立て、安全管理員・指導者等を確保

#### 【子ども対象講座の充実】

自然体験・科学体験・文化伝承など多様な実体験にチャレンジし、趣味や関心事の幅を広げる学習機会の提供を通じて、健全な育ちや仲間づくりを支援し、異年齢の子どもや高齢者を含めた地域の大人との出会いの中で、ふれあいを深め、地域や他者を想う気持ちを育む。長期休業中には、ボランティア（地域住民、中・高校生、クラブ講座生、公民館ボランティアなど）やN P O法人などの協力を得て、様々な体験活動を企画する。

#### 【青少年育成センターの活動】

青少年の保護育成を図るため、岡山市青少年育成協議会、警察、学校その他関係機関及び団体等と青少年育成センターとが連携するとともに、青少年育成委員の協力を得て、補導・相談、啓発・広報・研修活動等、青少年の非行防止、健全育成に必要な業務を総合的に行う。

- ・ 声かけ巡回補導活動の充実

#### 【青少年育成地区活動促進事業】

青少年の健全育成に重点的に取り組む岡山市青少年育成協議会・各地区青少年育成協議会が行う巡回補導活動、環境浄化活動、健全育成活動、広報研修活動を奨励・支援することで、青少年の健全な育成を図る。

#### 【子ども会育成者・指導者研修事業】

地域子ども会の活性化を図るために、育成者・指導者の養成を行う。また、子どもたちによる主体的な子ども会活動を推進するために、子どもリーダーの育成を図る。

- ・ 子ども会育成会役員・球技指導者研修会
- ・ ジュニアリーダー・インリーダー研修会
- ・ ジュニアリーダーの子ども会への派遣

#### 【新成人の集い】

新成人自身が新成人の集い（成人式）を企画・運営することを通して、自らの意志による行動の責任を負う人格を持つようになったこと、社会を担う一員となったことの自覚を促す。併せて、市民は今後の地域社会の発展の一翼を担う新成人に期待を込め、これまでの健やかな成長を祝福する。

#### 【岡山市ジュニアオーケストラ運営事業】

音楽を通じて、情操豊かな青少年の育成と市民文化の向上を図るため、定期演奏会活動を行うほか、岡山市を代表するオーケストラとして、市民や様々な音楽活動団体等との文化交流活動を行う。

### ② 子育てに関する情報提供、相談・支援体制の充実

#### 【子育て支援情報の提供】

各公民館ごとに「子育てミニ情報」を作成・配布することで、各地域に所在する子育て支援施設・機関によるサービスや、市民グループによる自主的な子育て支援活動に関する有意義な情報を保護者に広く提供し、安心して子育てができるよう支援する。必要に応じて、発達障害の情報を追記し、多言語化した情報資料の提供に努める。

#### 【子育て支援「のびのび親子広場」事業】

幼稚園が地域における幼児期の教育のセンター的役割を果たし、地域の子育て支援に寄与する。

- ・ 同年齢の幼児と一緒に遊べるよう未就園児対象の保育活動を実施
- ・ 園庭及び園舎を開放し、安全に安心して遊べる場を提供
- ・ 不安や悩みに応える保護者向けの子育て講座や子育て相談を実施
- ・ 保護者が集い、情報交換したり交流したりできる場を提供
- ・ 子どもの発達や子育ての様々な情報を提供

### 【子育て講座の開催】

各公民館に、子育て・子育てについての学びの場を提供し、子どもの豊かな発達と成長を促す子育てのあり方を学ぶとともに、子育ての楽しさや悩みを共有できる仲間づくりを目指す。また、父親の育児参加につながる講座の開設を進める。

- ・気軽に参加できる「子育てサロン」の拡充
- ・保育ボランティア（各公民館ごとの子育てサポーター）による支援
- ・発達障害など支援が必要な子育てについて学ぶ講座の充実

## (3) 子どもの育成に関する相談支援体制の充実

### ① 特別支援教育の充実

#### 【共に生きる子どもを育てる障害児支援事業】

特別支援教育の視点を生かした学級経営や授業法の実践研究及び一人一人の特性に応じた指導の在り方等についての研究を通して、教員の指導力向上と特別支援教育の充実を図る。また、発達障害に係る学校からの相談機能を強化し、ライフステージにあった切れ目のない支援体制へとつなぐことで、支援を必要とする子どもの自立を目指す。

- ・「特別支援教育の視点を生かした授業づくり」についての研究校の拡大と成果の普及
- ・専門家支援チームによる発達障害児等への指導・支援の在り方についての事例研究及び学校園訪問支援
- ・「就学支援シート」を活用した「個別の指導計画作成と活用」のパンフレット作成
- ・特別支援教育支援員による効果的な支援と校園内支援体制づくりの研修
- ・適切な就学指導と教育課程編成の在り方についての研修

### ② 総合的な支援体制の充実

#### 【ストップ・ザ学校問題ー学びの場充実事業ー】

不登校や問題行動など、学校が抱えている様々な課題の未然防止や早期解決を図るとともに、子どもが落ち着いて授業を受けられる学級環境づくりを進め、子どもの学ぶ意欲の向上と問題行動等の減少を図る。

※「ストップ・ザ学校問題ー学びの場充実事業ー」は次の5事業からなる

#### 共に成長し合う学級集団づくり推進事業

モデル中学校区内の小・中学校において、児童生徒一人一人の学校生活への適応感を測るアンケート調査等を実施・分析し、落ち着いた学級集団づくりに向けた実践研究に取り組む。

#### 学校問題解決サポート事業

学校と保護者等の間で発生した解決困難な事案に対して、弁護士や警察OBなどの専門家によるサポートチームを新設し、学校を支援する新たな体制づくりを行う。

#### 教育相談室・適応指導教室整備事業

老朽化したトラングルー宮の新築のための実施設計を行うとともに、適応指導教室等でのインターネットを活用した学習支援環境等の充実を図る。

#### 不登校児童生徒支援員配置事業

不登校の未然防止やその早期解決を図るために、小学校への配置を拡充する。

#### スクールカウンセラー配置事業

いじめや不登校、問題行動の未然防止のために、「心の専門家」である臨床心理士等を、中学校や高等学校に加えて、新たに小学校に配置する。

#### 【子ども相談主事配置事業】

多様化する問題行動の解決に向けて、生徒指導上の課題解決に必要な専門性をもつ子ども相談主事が、学校園や保護者等の相談に応じるとともに、事例協議やケース会議の場で学校園内の支援体制や福祉等の関係機関との連携体制を構築していくための指導助言を行うことによって、学校園の問題解決力の向上を図る。

### 【であいチャレンジ事業】

不登校に悩む子どもたちとその保護者を対象に、少年自然の家や日応寺周辺の自然環境などを生かして、子どもたちに社会性を育む活動や、子ども同士、保護者同士がより多く関わるのできる活動を展開し、人間関係づくりを支援する。

#### <活動内容>

- ・参加者同士コミュニケーションをとることができる活動（野外炊事、もちつき等）
- ・個人で集中して取り組めるクラフト活動（草木染め、トンボ玉づくり、絵手紙等）
- ・自然体験活動（収穫体験、フィールドビンゴ、農業体験等）

## 2 教育環境の整備

### (1) 安全快適な教育環境づくり

#### 安全で魅力的な教育環境づくり

##### 【学校園耐震改修整備事業】

校舎の耐震化を推進して安全・安心な学校園をつくり、教育環境の向上を図る。

- ・耐震診断 … 72棟
- ・耐震改修工事 … 小学校2校2棟、中学校2校2棟
- ・耐震改築工事 … 小学校1校1棟、中学校2校2棟
- ・耐震改修設計 … 小学校6校8棟、中学校2校2棟
- ・耐震改築設計 … 小学校3校5棟、中学校1校2棟

##### 【校舎等の増改築事業】

児童・生徒数の増加に伴う教室不足を解消するため、校舎の増築を行うとともに、施設の老朽化及び狭小化に対応し、増築・改築等を行う。

- ・御南中学校校舎の増築工事（鉄骨造3階建、普通教室7、多目的室1他）

##### 【足守地区の新しい学校づくり事業】

平成26年度までに足守中学校敷地に小中一体型校舎を整備し、足守地区における岡山型一貫教育を推進することで、郷土を愛し、心豊かでたくましく生きる人間の形成を図る。

##### 【子ども防災能力アップ事業】

子どもの防災意識の高揚とともに、子ども自らの危険回避能力の育成を図る。

- ・指定した中学校区の小中学校の管理職等が先進地（岩手県釜石市）を視察し、全学校園で情報を共有すると同時に、校内でパネル展を行うなどして児童生徒の防災意識を高揚
- ・防災教育を専門とする大学教授の講演を行い、教職員の防災意識を高揚
- ・子どもが自ら「落ちてこない・倒れてこない」場所へ避難できるような避難訓練の実施
- ・危機管理マニュアルの見直し

##### 【防災キャンプ推進事業】

災害時を想定して公共施設等を避難所とした防災キャンプ（1泊2日程度）を実施し、非常時の生活体験などの防災教育プログラムを実践することを通して、想定される災害や被災時の具体的な対応等の理解を図る。また、市のホームページや広報紙等を活用して本事業の取組について情報発信するとともに、防災教育フォーラムを開催し、成果の普及を図る。

- ・実施場所 … 公民館、学校等
- ・参加者 … 青少年と保護者及び地域住民
- ・活動内容 … 公共施設やテントでの宿泊体験、野外炊事（炊き出し）、灯りづくり（災害時の停電を想定）、救急法実習、消火体験、防災意識を高めるための講義やパネル展示等
- ・PTA、消防関係機関、社会福祉協議会、青少年団体及び地域の自治会等の関係機関との連携を図り、地域協働の視点を重視し、地域の絆づくりにもつなげる

### (2) 市民協働による学校づくり

#### 地域協働学校による学校運営の活性化と学校評価の充実

##### 【地域協働学校の推進と学校評価の充実】

保護者や地域住民が学校運営に参画する地域協働学校を推進し、学校運営を活性化するとともに、家庭や地域社会の教育力向上を図る。

- ・中学校区単位で「連絡会」を開催し、中学校区全体を見通した取組を推進
- ・各学校園に「運営協議会」を設置し、保護者や地域住民のニーズ等を反映した学校運営の基本的な方針を決定
- ・連絡会や運営協議会の協議題として学校評価を位置付け、学校園の自己評価に基づく「学校関係者評価」（自己評価結果の評価・分析、改善方策の検討）を実施

#### 【地域コーディネーター事業】

地域協働学校として指定されている中学校区の小・中学校に、地域の協力者への活動依頼を調整する「地域コーディネーター」を配置し、学校が必要とする学校支援ボランティアの確保・発掘を充実させることで、地域で学校を支える体制を作っていく。

#### 【学校支援ボランティア事業】

岡山市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校での教育活動に、あらかじめ登録した保護者や地域住民の様々な特技や趣味などを活かした支援活動を導入し、地域の教育力の学校教育への活用を図る。

### (3) 魅力ある教職員の確保と支援体制の充実

#### 魅力ある教職員の採用と一貫した教職員研修

##### 【魅力ある教員の確保事業】

教員志望の大学生、大学院生等に対する働きかけを強化し、本市の学校教育を担う優秀な「我がまちの先生」を確保する。

- ・採用候補者を対象にした採用前研修の実施
- ・大学生の市立小・中学校での指導等体験の実施
- ・大学の実習に関わる講義等への指導者（現職教員等）の派遣
- ・教職員募集に関するポスター等を作成・配布
- ・県内及び県外（近隣府県の県庁所在地等）の大学へ出向いての募集活動の実施

##### 【教職員研修事業】

「我がまちで育てる 我がまちの先生」をコンセプトに、採用時から一貫したライフステージに合わせた岡山市ならではの教職員研修を継続して実施し、情熱と力量豊かな魅力ある教職員としての資質能力及び指導力の向上を図る。

- ・研修内容の精選と重点化を図り、効果的かつ系統的な教職員研修を実施
- ・講師・初任者・採用後2～5年目の教員を対象とする継続的な研修を実施し、若手教員の指導力向上を支援
- ・教職員のニーズや喫緊の教育課題に対応し、希望研修を増設

##### 【教職員の力量を高める教育研究事業】

岡山市の教育課題や学校園のニーズに応えた実践的な研究を行うとともに、教育情報の提供、研究成果の普及、自己研修の機会提供等を通して、校園内研究への支援及び教職員の資質能力の向上を図る。

- ・岡山市の教育課題、教職員の研修ニーズ、学校園や子どもたちの実態を調査研究
- ・教職員研修による資質能力の向上等を継続的に評価
- ・学校と連携した、読解力、表現力等の学力の向上を図るための実践的な研究

##### 【ストップ・ザ学校問題ー学びの場充実事業ー】（再掲）

教職員の負担軽減を図るために、「学校が抱える解決困難な事案を早期に解決するための支援、「不登校や問題行動等の未然防止と早期解決のための支援」という面からの学校へのサポートを強化する。

- ・学校問題解決サポート事業による、学校問題の早期解決
- ・不登校児童生徒支援員配置事業による、不登校の未然防止と早期解決
- ・スクールカウンセラー配置事業による、いじめや不登校、問題行動の未然防止

### 3 生涯学習の充実

#### (1) 多彩な学習機会の提供

##### 生涯学習環境の整備と魅力ある学習プログラムの提供

##### 【生涯学習支援システム（マナビネット岡山）の運営】

市民がインターネットを利用してパソコンや携帯電話などから、生涯学習に関する情報を受発信できる生涯学習支援システム「マナビネット岡山」の円滑な運用を図り、各種の生涯学習情報を提供するとともに、公共施設の空き状況の案内や、社会体育施設の予約・抽選受付を行い、市民の幅広い生涯学習活動を支援する。

### 【公民館でのE S D推進】

多様な立場や文化を認め合う中で、誰もが暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、公民館での学びが個人の学びに止まらず、主体的な地域活動や社会参加へ繋がる契機となることを目指す。また、講座生やボランティアが、自主的に地域活動に参加する意欲を高めるための仕組みづくりや働き掛けを行い、公民館ならではの「草の根E S D活動」を推進する。

- ・防災・環境保護・多文化共生・農業振興・食の安全など、身近な暮らしの課題を取り上げるE S D講座の企画や、E S Dをテーマとするワークショップの開催
- ・E S Dに取り組んでいるアジア地域のC L C（コミュニティー学習センター）との交流促進

## (2) 特色ある学習資源の創出

### 魅力ある学習資源の拡充

#### 【公民館講座の拡充】

公民館が取り組む重点テーマの取組を充実させ、それぞれの地域の懸案や住民の生活課題などの解決に向けた学習機会を提供し、住民自身が課題解決力を習得できるように支援する。また、公民館職員による研究プロジェクトチームの活動を通じて、新たな事業企画や関係団体との連携のあり方などを研究し、各地域での実践に活かす。

<重点テーマ(7分野)>

- ①共生のまちづくり
- ②環境意識の高揚
- ③健康づくり
- ④男女共同参画の推進
- ⑤子育て・青少年の健全育成
- ⑥高齢者の学習促進
- ⑦安全・安心ネットワーク活動との連携

## (3) 生涯スポーツの推進

### スポーツに親しむ環境づくり

#### 【スポーツ環境の整備】

子どもから高齢者まで全ての市民が、生涯にわたってスポーツやレクレーションを楽しみ、健康で生き生きとした生活を送ることができるような生涯スポーツ社会の実現を目指して、スポーツ環境の整備を行う。

- ・岡山を拠点とするファジアーノ岡山の練習場を整備し、プロスポーツへの支援を行い、レベルの高いスポーツに接することで市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市のPRや活性化へ繋げていく
- ・有料社会体育施設及びプールの管理に際し、指定管理者制度を活用して、市民にとってより利用しやすくするとともに、効果的・効率的な施設の管理運営を実現する

## 4 文化力の育成

### (1) 岡山カルチャーゾーンの魅力向上

#### 文化空間の形成

##### 【オリент美術館特別展】

当館と研究協力協定を締結し、過去2回、8.5万人と5.3万人と多数の入場者を集め好評を博した吉村作治早大名誉教授の企画する特別展「吉村作治の7つの文明展」を開催し、岡山カルチャーゾーンの魅力向上と文化空間の形成、にぎわいの創出・観光客増を図り、政令市岡山の市民文化向上に寄与する。

「吉村作治の7つの文明展」 平成24年4月21日～6月24日

エジプト、オリент、ギリシア・ローマ、シルクロードとインド、中国、中南米、日本縄文の7つの文明を代表する美術品200余点を集め、世界の7つの古代文明の多様性と共通性を実行委員会方式で展観

##### 【美術館体験講座】

公立ではわが国唯一で、5千点を超えるオリент美術品を収蔵するオリент美術館の豊富な収蔵品を生かし、ジュニア・オリент教室をはじめとして、小・中学生から大学・大学院生までを対象に、実際に体験・体感する授業・講義を館内外で実施することにより、独自のユニークな教育を実践し、岡山カルチャーゾーンの魅力向上と文化空間の形成を図り、政令市岡山の市民文化向上に寄与する。



### 【史跡岡山城跡保存整備事業】

岡山市民のシンボリックな存在である史跡岡山城跡の本丸本段の石垣は、長い年月を経てきていることから、劣化している箇所が目立ってきており、恒久的に保存していくために、その修理を行う。本丸下段（テニスコート部分）では、発掘調査を行って埋没している建物等の遺構を確認し、その遺構の展示や位置の表示等を行い、かつての岡山城の景観を復元的に整備していく。

## (2) 歴史文化資源の保存と活用

### 文化財の保存・周辺整備と活用

#### 【文化財保存整備事業】

岡山市は、大和に匹敵する勢力を有したとされる吉備地域の中心地に相当することから、市内には数多くの貴重な文化財が存在しており、それらの文化財を恒久的に保存し整備・活用していく。

- ・ 史跡大廻小廻山城跡と史跡彦崎貝塚の恒久的保存に向けた事業
- ・ 史跡千足古墳の石障保存措置
- ・ 湊茶臼山古墳、金蔵山古墳の発掘調査

#### 【文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用】

岡山市は、大和に匹敵する勢力を有したとされる吉備地域の中心地に相当することから、市内には数多くの貴重な文化財が存在し、発掘調査では多くの貴重な出土品が発見されており、それらを積極的に活用していく。

- ・ 市内の発掘調査で出土した遺物を用いた企画展や講座を埋蔵文化財センターで開催
- ・ 現地説明会で発掘調査成果を一般に公開
- ・ 整備された史跡や所管する文化財を一般公開

## 5 人権教育の総合的な推進

### ○ 人権意識高揚と仕組みづくり

#### 人権が守られる環境づくりと意識啓発

##### 【人権教育推進会議の推進】

各個別の人権課題を担当する教育委員会内各課を対象に企画及び施策の総合調整を図る機能を持つ「岡山市人権教育推進会議」を設置し、人権教育行政を総合的かつ効果的に推進する。

- ・ 教育委員会関係各課長・所長・館長を委員とする人権教育推進会議を設置
- ・ 人権教育推進会議において、次の事項を協議し推進
  - (1) 人権教育の推進に関する企画立案及び施策の総合調整に関すること
  - (2) その他人権問題に係る事業及び施策に関すること
- ・ 人権教育推進会議の下に人権教育推進会議幹事会を置き、定期的な研修を行うとともに、施策の策定及び推進のための会議をもつ

##### 【学校教育・社会教育における人権教育の推進】

学校教育と社会教育の様々な機会を通じた人権教育の充実と相互の連携を図り、生涯学習の視点に立って人権教育を総合的に推進する。

#### <学校教育>

- ・ 推進の仕組みづくり（学校園における課題把握と体制づくりへの助言・支援）
- ・ 研究・実践の充実（研究指定・資料作成）
- ・ 指導の改善・充実（外部講師を活用した教育・研修への支援、教材や研修資料の整備）

#### <社会教育>

- ・ 社会教育の充実（P T A研修・市民啓発事業の実施、各種社会教育団体研修への講師派遣）
- ・ 学習の改善・充実（外部講師を活用した研修への支援、研修資料の整備）